

2021年10月15日

江蘇省淮安工業団地内の化学工場で火災発生

10月14日午前8時ごろ、江蘇省淮安工業団地内の化学工場で火災が発生しました。付近の住民によりますと、火災発生当時、まず大きな爆発音が聞こえ、周辺の建物では、爆発の衝撃で窓ガラスにひびが入るなどの被害も出たということです。火事の発生後、消防、公安、緊急対応部門が現場に駆けつけて消火と救助に当たりました。淮安工業団地の安全生産監督局が、現場と周辺を確認した結果、周辺環境への影響はないと通知しています。

この火災により1人が負傷し、1人が行方不明になっています。救助活動は継続されており、火事の原因は調査中です。



新聞によりますと、火災が発生したのは淮安工業団地にある江蘇富强新材料有限公司の過酸化水素の建屋とのことです。本工場は、主に化学製品の製造、及び輸入輸出を手がけ、危険化学製品も扱っています。主要な製品は、苛性ソーダ、メタン塩化物、オキシドール、プロピルメチルエーテル、プロピレンオキサイド、エピクロロヒドリン、ヘキサミンアミド、フェニルアミン等です。

この工場では過去に3回、消防設備の不備などで処分も受けていたということで、警察など当局が詳しく調べています。

弊社は富强新材料有限公司と取引関係がなく、影響はありません。しかし、今回の火災の影響で、江蘇省淮安市の周辺の安全環境保護の監査はさらに強化され、加えて中国の電力制御の時期に当たっており、今後は化学製品の供給が厳しい状況になることが推測されます。

今後も情報を収集し、新たな情報を入手次第、ご報告させていただきます。

以上